

# AnyConnect SWGモジュールを有効にしたキャプティブポータル経由のホットスポットへの接続のトラブルシューティング

## 内容

---

[はじめに](#)

[問題](#)

[さらなるトラブルシューティングのための修正と推奨事項](#)

[AnyConnectのアンチウイルスアプリケーションの設定](#)

[詳細](#)

[4.10.05095より前のバージョン](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、AnyConnect SWGモジュールを有効にした状態でキャプティブポータル経由でホットスポットに接続する場合のトラブルシューティングについて説明します。

## 問題

AnyConnect Secure Web Gateway(SWG)モジュールを使用しているユーザが、一部のパブリックホットスポットの場所でサインインできない場合があります。

## さらなるトラブルシューティングのための修正と推奨事項

AnyConnectバージョン4.10.05095(4.10MR5)を使用していることを確認します。キャプティブポータルに関する問題は、このバージョンで対処します。

ただし、4.10.05095にアップグレードしても問題が解決しない場合は、Umbrellaサポートにお問い合わせください。

サポートプロセスを迅速に進めるため、お客様はこれらの手順を実行し、Umbrellaサポートに連絡する前に必要なログを収集することをお勧めします。

1. お客様には、AnyConnectバイナリと接続を除外してポリシーの競合を回避するために、エンドポイントにインストールされているすべてのセキュリティエージェントを設定することを要求します。したがって、TrendMicroやその他のセキュリティエージェントを適宜設定する必要があります。

AnyConnect [リリースノート](#)の該当するスニペットを参照し、AnyConnectの例外が適切に行われていることを確認してください。

2. ブラウザでHTTP(たとえば、<http://www.portquiz.net>)とHTTPS(<https://www.google.com>)の両方のURLにアクセスして、キャプティブポータルへのリダイレクションが発生するかどうか

を確認します。

3. それでも問題が解決しない場合は、DARTバンドル ( 最大デバッグが有効 )、PCAPファイル ( ループバックを含む )、および画面記録 ( オプション ) を収集して、詳細を調査してください。

## AnyConnectのアンチウイルスアプリケーションの設定

アンチウイルス、アンチマルウェア、侵入防御システム(IPS)などのアプリケーションが、AnyConnectセキュアモバイルクライアントアプリケーションの動作を悪意のあるものと誤解する可能性があります。このような誤解を避けるために、例外を設定できます。AnyConnectモジュールまたはパッケージをインストールした後、AnyConnectインストールフォルダを許可するようにウイルス対策ソフトウェアを設定するか、AnyConnectアプリケーションのセキュリティ例外を作成します。除外する共通ディレクトリがリストされますが、リストが完全でない場合もあります。

- C:\Users<user>\AppData\Local\Cisco
- C:\ProgramData\Cisco
- C:\Program ファイル(x86)\Cisco

## 詳細

キャプティブポータルの問題は、[CSCwb39828](#) 「Captive Portal page did not open when SWG is enabled for both fail open/fail close」が原因で発生する可能性があります。AnyConnect 4.10.05095 以降にアップグレードした後は、追加の設定やユーザの操作は必要ありません。

一部のワイヤレスホットスポットや他のゲストネットワークは、インターネットアクセスを中断し、Webトラフィックをキャプティブポータル ( ウォールドガーデンと呼ばれることもあります ) にリダイレクトします。4.10.05095より前のバージョンのAnyConnect SWGでは、インターネットアクセスが利用できない場合でもこのWebトラフィックをUmbrellaクラウドに送信しようとする可能性があり、システムがキャプティブポータルとローカルにやり取りできなくなります。認証、支払い、またはクリックスルー契約ページを通じてアクセスを許可するには、このローカルの対話が必要になる場合があります。

## 4.10.05095より前のバージョン

SWGを使用する場合、以前のバージョンのAnyConnectを使用するキャプティブポータルに対するサポートは制限されます。キャプティブポータルの次のアクションにより、SWGクライアントに到達できなくなる可能性があります。

- RFC-1918プライベートIPアドレス空間外の宛先へのリダイレクト、またはからのアセットのロード。
- ポート80または443でUmbrellaプロキシのTCPハンドシェイクを受け入れ、接続を閉じるか、または予期しない応答を提供する。

回避策として、ロードに失敗した宛先に対しては、Umbrellaダッシュボードの「Deployments → Domain Management → External Domains & IPs」セクションに例外を追加します。キャプ

タイプポータルは動作は実装固有であるため、必要なリダイレクトドメインまたはIPアドレスはホットスポットごとに異なります。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。